

横断的目標 新たな日常（ニューノーマル）の構築

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

継続して自治体情報システムの標準化を進めます。また、新たに外部デジタル専門人材を任用することで、職員のデジタルリテラシーの底上げやデジタルを駆使して業務改革を牽引できる人材の育成を行うことにより、デジタル時代の住民ニーズに合った行政サービスを恒常的に提供できるよう推進していきます。ODX推進事業費(予算額 1億1,264万円)

空き店舗等対策支援事業

新たに商店街の空き店舗等を活用した事業支援を行うことで、賑わいの創出と地域経済の活性化を図ります。
○空き店舗等対策支援事業費（予算額 200万円）

獣害防止対策事業

獣害対策として、電気柵設置の補助や猟友会と連携・協力した有害鳥獣の捕獲に継続して取り組むとともに、クマ捕獲の報酬を1頭あたり1万5千円から3万円へ倍増することで、全国的に増加傾向にあるクマ被害に対応していきます。
○獣害防止対策事業費（予算額 995万円）

基本目標3 強い産業の基盤をつくる

南陽みらい議会の開催

昨年度に引き続き、南陽みらい議会に取り組みます。有権者となる市内中高生の関心をさらに高めながら、課題解決に向け、みらい議員一人一人が多様なアイデアを出し合い、議論を重ね、具体的な実践につなげることで、将来を担う人材の育成を図ります。
○南陽みらい議会開催事業費（予算額 100万円）

基本目標2 地域に根ざした人材を育てる

秋葉山の森林再生

昨年発生した秋葉山林野火災の被災区域のうち、焼損被害が激しく全層焼失した箇所を対象に、被災木の除去と地元有志等による新たな樹種苗木の植栽を行い、着実な森林再生に向け取り組みます。合わせて、国や県、森林組合等の関係機関と連携を図りながら、中長期的な森林管理の在り方について研究・検討を進めていきます。

○秋葉山焼損森林再生事業費（予算額 416万円）



基本目標5 自然の豊かさを守る

災害対応力の向上

携帯型無線機や背負い式消火器具などの消防団装備を充実させることで、災害現場等における安全確保や防災・減災を図ります。また、市消防団に連絡網システムアプリを導入することで、市及び団員間コミュニケーションを円滑化し、災害時や緊急時の迅速な対応につなげます。山形県防災行政通信ネットワークや緊急速報メール連携システムの更新を行うとともに、トイレカーを1台導入することにより、災害対応力の向上を図ります。
○消防団装備整備事業費（予算額 1,714万円）
○災害対策一般事務費（予算額 4,562万円）
○全国瞬時警報システム等整備事業費（予算額 906万円）

市道六角町富貴田線の整備

令和4年度から整備を進めている市道六角町富貴田線について、主要地方道米沢南陽白鷹線の交差点東側の未整備区間について整備を進め、令和8年度の供用開始を目指します。
○都市構造再編集中支援事業費(六角町富貴田線)(予算額 1億3,051万円)

花見町古堤水辺空間の整備

赤湯地区の花見町古堤について、地元住民や関係機関との調整を図りながら、住民のいこいの場となるよう水辺空間を整備します。
○都市構造再編集中支援事業費(花見町水辺空間)(予算額 1億1,987万円)

基本目標4 強くてしなやかなまち・住みよいまちをつくる

観光資源の整備

烏帽子山公園北側見晴らし台周辺について、桜の植樹等の整備を進めることで、桜の名所としての魅力向上を図るとともに、ライトアップ機材を増設し、烏帽子山公園の桜や紅葉、雪景色など、四季折々の様々な場面で活用を図り、多くの観光客に楽しんでいただける取組を進めます。また、双松バラ園について、花壇の補修やバラの樹勢回復に着手し、市内外から多くの人が訪れる魅力的なバラ園を、将来に引き継いでいきます。
○観光客おもてなし事業費（予算額 398万円）
○公園管理事業費（予算額 2,372万円）

基本目標7 発信力のあるまちづくりを進める

ラーメン課R＆Rプロジェクト

人気漫画「ラーメン大好き小泉さん」とコラボしたラーメンカードラリー等を引き続き実施し、全国に南陽市をPRするとともに、ラーメンを主役にした地域活性化を進めていきます。
○ラーメン課R＆Rプロジェクト推進事業費（予算額 170万円）



基本目標6 人がつながりまちを育てる

持続的な社会発展を目指して
つながり つどう 縁結ぶまち南陽

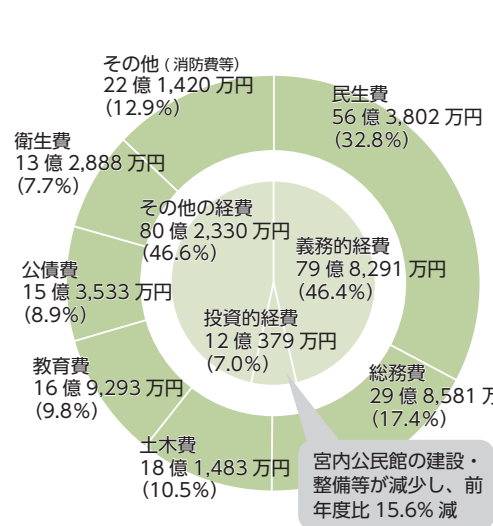
令和7年度 施政方針・予算 主な事業

令和7年度 一般会計予算総額

172億1,000万円 前年度比5億3,000万円の増

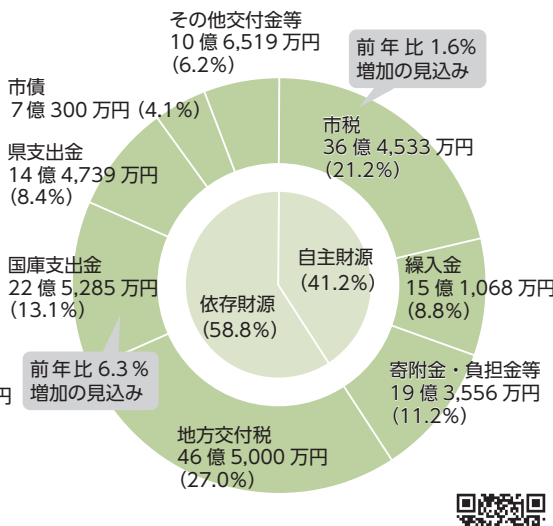
※千円以下四捨五入

一般会計の歳出



※括弧内は全体に占める割合を記載しています。当初予算について、詳しくはホームページをご覧ください▶

一般会計の歳入



「歳入」市税は、賃金上昇による個人市民税の増収見込みなどから前年度比1.6%の増加を見込みました。国庫支出金は、制度改正による児童手当負担金の増加などから同6.3%の増加、市債については、投資的経費の減少により、同13.5%の減少となりました。

「歳出」人件費は令和6年度の給与改定等により前年度比5.1%の増加。投資的経費は宮内公民館建設の終了などにより前年度比15.6%の減少。物件費や維持補修費、扶助費等の一般行政費は、前年度比6.4%の増加で計上しました。

健幸まちづくりの推進

なんよう健幸ポイント事業の規模を拡大し、市民の健康づくりの推進と、介護リスクの低減や将来の医療費・介護給付費の抑制、高齢者の外出や社会参画の促進を図り、市民の健やかな暮らしの実現を目指します。
○健幸ポイント事業費（予算額 4,603万円）
○健幸コンディショニング事業費（予算額 150万円）



地域生活支援拠点強化事業

障がい児・者の支援について、地域の相談支援の中核的な役割を担う「基幹相談支援センター」を新たに設置し、様々な障がい特性や各種ニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援体制の構築を図り、障がいのある方やその家族が住み慣れた地域で安全に暮らし続けられるよう、地域全体で支えあう共生社会の実現を図ります。
○地域生活支援拠点強化事業費（予算額 801万円）

ひきこもりアウトリーチ支援事業

義務教育終了後の青年層への支援を拡充するため、新たにひきこもりや不登校などの相談支援及び居場所機能を有する支援拠点を整備するとともに、アウトリーチ型による包括的な支援を通じて、支援対象者の進学やキャリアアップを後押しします。
○ひきこもりアウトリーチ支援事業費（予算額 619万円）

基本目標1 健やかで安心な暮らし・子育てを実現する